

### 子どもの本だな 138

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

### 白いたか

E.アーノルド 作  
瀬田 貞二 訳 (岩波書店)

ジョンは幼い頃インディアンにさらわれ、開拓地からヒューロン湖のそばの村につれてこられました。子を失った夫婦のもとで育てられました。13歳のときに大酋長と彼女の故郷、チペワ族の村へ移り、勇敢で知恵のある若者に成長しました。部族にとって白人のよそ者だったジョンは、スー族との戦いでの功績で、インディアンの「白いたか」として認められました。

ある年、白いたかが飢えと闘いながら冬の間に貯めた毛皮が毛皮会社に奪われました。毛皮がないと生活に必要な物が手に入られません。白いたかは、幾日もかけ、ナイフで毛皮をしまつてある倉までトンネルを掘り抜きました。

2つの毛皮会社の対立、それを利用して白いたかを陥れようとする酋長ペグウェー。数々の困難に白いたかは、人間として、インディアンとしての尊厳をもつて立ち向かいます。白人の子が人一倍の努力で厳しい掟や習わしを学び、インディアン以上のインディアンに成長する物語です。12歳くらいから。

(竹内)

### 図書館の本棚 465

### 羊皮紙をめぐる冒険

八木 健治 著 本の雑誌社 (594.7)

著者と「羊皮紙」との出会いは約20年前、当時通っていたアラビア書道講座のことだった。初めて触れた羊皮紙は、見た目はアンティークなのに触るとプラスチックっぽい不思議な紙だった。「羊皮紙」をネットで調べてみると、あるサイトで「中世の羊皮紙の作り方」を見つけた。作れるの!? 著者の好奇心に火が付いた。これが、自宅の風呂場「羊皮紙工房」での「羊皮紙づくり」の始まりだった。

さっそく北海道から羊皮を取り寄せた。十分に洗った毛皮を石灰液に8日間浸すと表面が腐って毛穴が広がる。異臭に耐えながら毛を抜き、角材で作った木枠に皮を張る。乾燥させた皮の表面をナイフで削る…。様々な工程を経て19日後、初めての自作羊皮紙が完成した。そしてこの羊皮紙を使い、極彩色豊かな中世ヨーロッパ風の写本を作り上げた。試行錯誤に奮闘した濃密な2ヶ月間だった。満足はしたものの羊皮紙への興味は尽きることはなく、様々な中世の羊皮紙写本を収集したり、中東や英国の羊皮紙工場や職人を訪ねたり、豪華写本に使われている羊皮紙はどのようなものか、作られた時代・地域ごとに厚みなどがどう違うのかを研究しに大英図書館へ行ったりと、著者は羊皮紙の世界を追求していく。そして遂には、羊皮紙の聖地。ベルガモンで開催される羊皮紙の国際シンポジウムのオーガナイザーに抜擢され、これまで羊皮紙を通じて出会った世界各国の羊皮紙専門家たちを呼び集め、自身も羊皮紙専門家として登壇した。

「羊皮紙」って何だろう? 動物の皮で作った紙とは? どこから来てどう作るのか。知的探求心で羊皮紙専門家までになった著者の姿がユーモアあふれる文章で綴られる。「羊皮紙」を追い求め、世界中を駆け巡る著者の探究心と行動力に感嘆するばかりだ。カラー写真には著者自作の写本もあり、本物かと見間違えうくらいの出来栄だ。同著者の『羊皮紙のすべて』(青土社)では、より深く羊皮紙の世界を知ることが出来る。著者の羊皮紙探求の冒険はまだまだ終わらそうにない。

(池之上)

**お知らせ**

毎週土曜日に  
「おはなしの時間」  
を開いています。



6月の おはなし	小さい人 (4歳~小学2年生) 11:00~11:30	大きい人 (小学3年生~中学生) 11:30~12:00
7日(土)	チム・ラビットのあまがさ	だれがいちばん大きいか
14日(土)	あかずきん	元気な仕立て屋
21日(土)	カンチルと巨人	ぶんぶくちゃがま
28日(土)	ちゅーりっぷほいくえん	うりひめ

6月の開館日							7月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	<del>3</del>	4	5	6	7			<del>1</del>	2	3	4	5
8	9	<del>10</del>	11	12	13	14	6	7	<del>8</del>	9	10	11	12
15	16	<del>17</del>	18	19	20	21	13	14	<del>15</del>	16	17	18	19
22	23	<del>24</del>	25	26	27	28	20	21	<del>22</del>	<del>23</del>	24	25	26
29	<del>30</del>						27	28	<del>29</del>	30	<del>31</del>		

▶ ×印は休館日

- ・ 祝日の振替休館  
7/23
- ・ 館内整理日  
6/30、7/31

※閉館時は返却ポストを  
ご利用ください。

▶ 開館時間:

10:00~18:00

※金曜日のみ

10:00~20:00

6月	7月	6・7月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
12日	10日			<b>福地(三反長)</b> 地域内 14:30~ 14:50	<b>米田</b> 公会堂 15:00~ 15:20	<b>竹広南</b> 公民館 15:30~ 15:50
19日	17日			<b>原池団地</b> 公民館 15:00~ 15:20	<b>山田</b> 掲示板前 15:30~ 15:50	<b>原</b> 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
26日	24日	<b>広坂</b> 公民館 10:30~ 10:50	<b>上太田</b> 公民館 11:00~ 11:20	<b>塚森</b> 地域内 15:00~ 15:20	<b>太子 ニュータウン</b> 公民館 15:30~ 15:50	<b>吉福</b> 公民館 16:00~ 16:20



**地下水**

今年度から、おはなしの時間を担当することになった。図書館では毎週土曜日におはなしの時間を開催し、ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを行っている。対象年齢は、「小さい人」が4歳から小学2年生まで、「大きい人」が小学3年生から中学生までと幅広い。今回、私は小さい人を担当し、ストーリーテリングに「三びきの子ブタ」(『イギリスとアイルランドの昔話』(福音館書店)より)を、読み聞かせに『くまのコールテンくん』(偕成社)を準備し、本番を心待ちにしていた。

本番当日、初めてということもあり、「おはなしを聞きたい」とやってくる子どもがどんどん増えていくにつれ、緊張が増していく。ありがたいことに、人数はいつもより多く集まっていたが、私はそれを喜ぶ余裕がなく、上手くできるかが気がかりだった。いざ始まると、さっきまで賑やかだった子どもたちが一斉に静まり返り、じっと私を見ている。熱い視線に、ただただ必死に語るうちに緊張はどこかに消え、あつという間に時間が過ぎていた。終わった後は「楽しんでくれたらうか」と不安でいっぱいだったが、おはなしを聞いた子が、「さっきの絵本を借りたい」と、キラキラした笑顔を見せてくれた。そのとき、大きな喜びを感じたと同時に少しの自信が湧いた。次は何のおはなしを用意しようか。

(竹田)